



国労石川

国鉄労働組合 石川県支部
 発行人 大巻道秋
 編集人 後藤通広
 2022年3月15日 25-N0.14

3.10 西日本総行動

金沢駅西口でスタンディング

国労要求に応え労働者に還元を！



3.10西日本総行動の取組みで、石川県支部は金沢駅西口でスタンディング行動を行いました。コロナ禍の中、マイク宣伝やビラ配りは自粛し、「春闘勝利！賃金・生活改善を勝ち取ろう」、「安全・安心の鉄道を！」、「ローカル線を守れ」のプラカードとともに、ロシアの侵略戦争に強く抗議する意思表示で「侵略戦争反対・ロシア軍はウクライナから撤退を！」を掲げ宣伝しました。また、西日本本社・貨物関西支社前行動には大巻委員長が参加しました。



JR西日本会社は、利益剰余金と流動資産を合わせ、単体で9213億円を確保しています。ほんのわずかな取り崩しで、国労要求満額回答は可能です。大規模プロジェクトとして大阪駅周辺の開発事業には1,000億円、広島駅ビルには600億円など、大規模開発や株主配当へ投入するだけでなく、労働者の賃金・生活の底上げにも活用すべきです。

グループ会社を含めコロナ禍で働く全労働者が、感染リスクがあるなかで、必死にそれぞれの役割や使命を誠実に果たし、社会インフラ企業グループとして安全を第一に最優先に考えて、日々業務に励んでいます。超低額回答が続く中で低下した労働者のモチベーションの向上には賃上げが必要です。

労働組合の使命は、労働者の雇用を守り、労働条件の改善を図ることであり、コロナの流行で苦しい生活を余儀なくされている中で、低額回答を受け入れることはできません。

石川県支部情報は
こちらからも見れます



アクセスは
こちらから